

平成三十年度入学試験

二月一日午前実施

東京女学館中

学校  
国

国語解答用紙

(字数制限のある場合、句読点・カッコなどはすべて字数に数えます。)

問一 A エ B ウ C ア D イ E キ F カ

問二 (1) オ (2) 外へ出ると 問三 美術館のあ 問四 そんなはず

問五 記憶 問六 中の様子がわかっているような様子。

問七 こころ 問八 ウ 問九 記憶がうすれかけている状態。

問十 はずかし い気持ち

問十一 頭をかきながら「ただいま」と家に帰り、「母さんーに「あたたくかかえられ「ぼく」がかかれました。絵。

問十二 過去の自分をふりかえる 行為。 問十三 イ ウ

問一 A ア B エ C ウ D イ

問二 淋しい独り暮らしの老人などの相手をして、黙って相槌を打つだけでお金をもらって帰るといいう仕事もまた、淋しいものだから。

問三 注文主の家 引き受けること。

問四 I めんどろ II 依頼主の相手をする III 楽 IV 奇妙

問五 近代的自我 いている社会 問六 つまり仲間 問七 便利屋

問八 友人や仲間たちと集う 問九 イ

問十 自分が何らかの役に立っているという実感

9	5	1	刻む	車窓	検討
10	6	2	納める	宣伝	対策
	7	3		尊大	警報
	8	4		観衆	処置
評点					

受験番号

氏名